

評価視点
1. 論文全体の概要
1)論文の構成はガイドラインに沿って記述してある
2)看護学教育・研究及び看護実践に貢献できる論文である
3)論文の論旨は一貫性があり、明確・適切に記述してある
2. 研究テーマ・目的の適切性
4)研究課題が論文内容を明示している
5)研究目的が論理的であり、科学的根拠に基づいている
3. 研究デザイン・研究方法の適切性
6)目的に沿った研究デザイン及び研究方法である
7)概念・用語・キーワードの設定が科学的である
8)分析方法・手順が科学的・論理的がある
9)研究に関する倫理的配慮が明記してある
4. 研究結果の信頼性・妥当性
10)記述手順・内容と研究方法とに一貫性がある
11)データに基づく文章及び図表で構成してある
12)分析に信頼性・妥当性がある
5. 考察の論理性・適切性
13)各章の考察は結果に基づいた内容である
14)先行研究を活用した学術的・論理的根拠を示している
15)全体考察は各章の考察の発展となっている
6. 結論の論理性・適切性
16)論理性・適切性がある
17)最終結論は研究目的と論旨の一貫性がある
7. 研究の新規性・独創性・学術性・社会的価値
18)研究は独創性・新規性がある
19)研究の学術的・社会的価値がある
8. 要旨と本論文の一貫性
20) 要旨は論文の構成・論旨が明確・的確に論述している